

## 令和3年度第5回月形町地域拠点施設整備等審議会の開催結果

開催日時 令和3年12月22日（水）午後5時30分～午後6時45分  
開催場所 月形町役場大会議室  
出席委員 出席委員11名、欠席委員5名（中村委員、西山委員、廣野委員、高畠委員、伊藤委員）  
傍聴者 1名  
月形町 五十嵐課長、竹内課長補佐、新道係長、山本主任

### 1 開 会 竹内課長補佐

### 2 挨 拶

（福井会長）雪が一気に降りまして、月形らしくなってきたところですが、皆さん忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。前回、グループに分かれて意見の出しやすい会議で進めましたが、今日は全体で事務局がまとめた前回意見の精査から行い、その後、皆楽公園側と小学校側の比較検討についてとなりますので、よろしくをお願いします。

### 3 議 件

（1）道の駅の整備比較検討精査について（竹内課長補佐から説明）

ア 前回意見の取りまとめ結果

イ 比較検討精査協議（継続）

（竹内課長補佐）前回意見の結果について、資料のとおり取りまとめました。市街地と皆楽公園のメリット、デメリットや優先する事業の選別、迅速の対応・判断が必要など、委員の皆さまからいろいろなご意見を頂戴しました。

市街地については、「国道沿いであるため集客しやすく、商売に適している」といったメリットがある一方、「居住区域なので、24時間人の往来があると治安悪化が心配される」、「学校移転が前提のため、時間がかかりすぎる」などのデメリットが出されました。

皆楽公園では、「道の駅は郊外にあるイメージ」、「キャンパーや温泉利用者などの既存利用者の利用が見込まる」といったメリットがある一方、「国道275号からは入りにくい」、「道の駅として整備してもソフト面がないため、効果がない」などのデメリットが出されました。

その他意見として、「拠点施設は町民向け、皆楽公園は町外向けの施設となる」、「時間がかかりすぎると事業実施が難しくなる」などの意見も出されました。

（福井会長）取りまとめた意見の説明でした。何かほかに意見がある方はいらっしゃいますか。

前回お話ししていましたが町の財政推計について、町から諮問され、審議会として答申するには現実的な整備内容にしたいと考えていますので、そこを考慮しながら審議と思っておりましたが、財政推計が1月頃になるということでしたので、今後示されると思います。

次に比較検討資料について、説明をお願いします。

（竹内課長補佐）以前、町から提示しました整備箇所の比較について、委員の皆さまにも評価を行っていただくため、比較検討資料として改訂しています。それぞれの項目に1～5段階

評価となっていて、最後に全体の総合評価となっています。

(福井会長) この比較検討資料をもって最終的な答申を出すということにはなりません、結論は出さなくてはなりませんので、委員の皆さまのご了承をいただければこのような方法で進めていくこととします。

(香西委員) 休憩機能や子育て支援などの評価の仕方について、もう少し詳しく説明をお願いします。

(竹内課長補佐) 今回の比較検討資料は、町が評価したものを委員の皆さまで評価するというのではなく、皆さまそれぞれの考えにより評価をしていただきたいと考えています。

評価方法の説明ですが、例えば「休憩機能」であれば、皆楽公園はすでに駐車場が整備されており、大きな事業費がかからないなど、そういった部分も評価していますが、違う見方をすると評価方法も変わってくると思います。そこで、評価欄の下に記述する欄がありますので、意見を記入いただき、まとめていこうと考えています。また「子育て支援」であれば、月形温泉は現状で24時間従業員が常駐しており24時間利用が可能ですので、このような評価となっています。逆に市街地エリアでも24時間体制の運営を取ることも可能だと考えていますので、点数として付けづらいものについては、記述欄に記入をお願いします。

(五十嵐課長) これまで町が示していました比較検討資料ですが、町議会からもご指摘を受けており、ある程度客観性があり、数値でわかりやすく判断できる資料があればと思い作成しています。

子育て支援ですが、開発局の担当者からは授乳室で寝ている人がいると聞いています。このような目的外使用や不審者等の対応として夜間は閉めてしまうというようなこともあるそうなので、24時間開放が難しくなることも想定して、評価することも考えていますが、点数付けが難しい場合は、文言だけの評価でもいいと思っています。

(香西委員) この評価について異論はなくて、評価の方法を聞きただけです。項目6の機能性とありますが、どういうことなのか。使いやすさみたいなものなのか。

(竹内課長補佐) 評価方法については、前回までに配布している比較検討資料等を参考に評価いただければと考えています。

比較検討資料については、道の駅設置に係る一つのツールとして活用していければと考えています。

(福井会長) 比較検討資料は参考資料になるということです。

(本多委員) 比較検討資料としてどちらかを選ぶのはいいんですが、道の駅はもうやると決まっています、比較検討をすればいいですか。道の駅設置についての検討は全くしなくてもいいのかなと思いました。

(福井会長) 答申する際は場所を、ということでしたので、やるという解釈でいいと思います。町内の団体などに意見を聞いていた際も、町側はやるという話になっていました。

(鳥潟委員) 既存施設の改修でやるのか、新しく建設するのか、どちらで考えた方がいいですか。それによっては評価の仕方も変わってくると思うので、最初にある程度絞って評価した方がやりやすいと思いますが。

(福井会長) 今まで町から新しく建てるという話はありませんでしたので、改修ということで考えていいと思います。以前から財政面の話をしてほしいとお願いしていましたが、今日は間に合わなかったの、新しく建てるという解釈はしない方がいいでしょう。

(五十嵐課長) 財政推計についてですが、まず義務教育学校は建設地の検討に時間を要しており、温泉改修については、設備が古く日々故障が起きている状況です。このような中で費用が当初考えていた金額より大きくなるというふうに考えておりました、そうなった場合、月形町の財政が厳しくなってしまいます。町の基金についても、用途が決まっていますので何でも使用できるわけではありません。多額の費用をかけて行うことによって後世の人たちに大きな負担をかけることもできませんので、かなり抑制した費用でやっていかなければなりません。抑制したとしても財政的には厳しい状況にありますので、新たな建屋は無理であろうと考えています。

(福井会長) 今の話を聞いて、道の駅を無理してやることはないんじゃないかと思ってしまうのですが、財政推計は何年後までのものですか。

(五十嵐課長) 10年後くらいまでのものになります。

(鳥潟委員) 今わからない情報もあるので、イニシャル・ランニングコストの評価はしない方がいいと思いますが、どうでしょうか。

評価方法の確認で、子育て支援と24時間トイレ、情報発信は24時間使えるという形で評価でいいでしょうか。温泉は24時間人がいるから点数が高くなり、市街地は人がいないから夜間は使用できないという認識で評価をするのか、市街地も人を配置できれば温泉と同条件になると思います。

(竹内課長補佐) 当初の拠点施設は、公共施設という扱いでしたので、利用時間も限られていると考えていました。ただ、トイレを新築した場合は、24時間可能だと町でもそのような評価ができると考えていますので、点数の他に記述欄にも記入していただきたいです。

(五十嵐課長) 新しく人を配置した場合は、ランニングコストが増すことになりしますので、そのような視点からも判断していただきたい。

(福井会長) 開発局はどの部分の整備するのか。

(竹内課長補佐) 道の駅は、道路管理者と自治体が共同で実施する一体型、自治体のみで実施する単独型に分かれます。一体型の場合は、道路管理者と協定を結び、その中でどの部分を整備するのか協議して決めていくことになります。

(香西委員) 市街地エリアで一体型になった場合、駐車場を道路管理者が整備して、コストが下がることもあるということでしょうか。

(竹内課長補佐) そのとおりです。浜頓別町の道の駅では、全駐車場の半分を道路管理者で、もう半分を自治体でといった整備だと思います。一体型と言っても、駐車場全てを道路管理者で整備するとは限らないです。道の駅設置に活用できる補助金については、農林水産省などにもメニューはあり、農産物の加工所や販売所の整備に活用できるものもあります。

(福井会長) 他になれば閉会とします。今回は、1月中旬~下旬頃に開催を予定し、委員からの評価をまとめたものを議論していきます。